

令和五年 謹賀新年



福岡県労福協
理事長 藤田 桂三

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、それぞれの「思い」「決意」を抱き新年をお迎えのことと思います。旧年中は、福岡県労福協活動に対しまして温かいご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。また、「福祉は一つ」を合言葉に、働く仲間・生活者の命とくらしを守るため、それぞれの立場でご奮闘・ご尽力されているすべての仲間の皆さんに、心から敬意を表し感謝申し上げます。

私たちは今、世界的規模で時代の大転換期（岐路）に立たされているといっても過言ではない状況にあります。収束の目途が見えないコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ軍事侵攻による平和の課題や原材料・エネルギーの高騰、脱炭素化など地球環境問題、DX（デジタルトランスフォーメーション）をはじめとする第4次産業革命などの現実に向き合い対応していかなければなりません。

残念ながら日本社会の現状は、こうした課題に真摯に向き合っているとはいえ、貧困や格差が拡大し、社会の分断や持続性の危機が深刻化するなど将来不安の状況が続いています。このような中、公助はもとより「共助」の重要性、労働者自主福祉活動の意義と役割が高まっています。

私たち労福協は、「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」という理念のもと、2030年ビジョンを策定し、「誰一人取り残さない」包摂的で持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めています。

福岡県労福協として、今まで以上に働く仲間や生活者、地域に寄り添い、活動の原点である、人と人との繋がりを大切に、思いやり、支えあい、助け合う組織として活動を展開します。今を生きる大人の責任として、「働く仲間・生活者の笑顔のために、未来の子どもたちの平和と安心、希望のために」、今後とともに手を携え頑張りましょう。

結びに、会員・ご家族の皆様のご健勝とご活躍、今後の労福協活動への積極的なご参画をお願いし、新年のご挨拶といたします。



労働者福祉中央協議会
会長 芳野 友子

新年明けましておめでとうございます。

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大による経済・社会・国民生活への影響は現在も続いています。日本のセーフティネットの脆弱性が露呈する中、公的支援が行われているものの、長引くコロナ禍においては、一時的な支援から、継続した支援への強化が必要です。中央労福協も「ろうふくエール基金」を継続し、生活に困難を抱えている人たちの支援などに役立っています。これまで寄付をいただいた皆様へ改めて感謝申し上げます。

さて、世界に目を向けると、ロシアのウクライナ侵攻による平和問題や、物価上昇、気候危機など、先行き不透明な状況に置かれています。平和や地球環境について、一人ひとりが意識を変え何ができるかを考え、小さなことでも行動に移していくことが必要です。

「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会を実現するために、取り組みを進めていきましょう。

中央労福協は現在、「第3期奨学金制度改善・学費負担軽減」運動に取り組んでいます。給付型奨学金の中間層への拡大と、返済困難者への支援が喫緊の課題です。政府は授業料を後払いにする「出世払い方式」の検討を進めていますが、極めて収入額が低い場合でも返済を開始させるような制度設計となっています。奨学金制度のさらなる改善にむけて、給付型奨学金創設を実現したときのように、みんなで大きなうねりを作り上げ取り組んでいくことが必要です。引き続きのご協力をお願いいたします。

私たちは今、目まぐるしく状況が変化する社会の中で、様々な課題への対応に迫られています。これまでの運動で培ってきた経験や、助け合い、支えあいの精神を糧に、時代に即した運動スタイルを取り入れてポストコロナ社会を見据えた運動に取り組んでいかなければなりません。「2030年ビジョン」の実現にむけて、労福協、労働団体、福祉事業団体がこれまで以上に連携を深め、一丸となって取り組みを進めていきましょう。



福岡県知事
服部 誠太郎

新年あけましておめでとうございます。
福岡県労働者福祉協議会の皆さまには、日ごろから労働者福祉の向上にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナオミクロン株の爆発的感染拡大、ロシアのウクライナ軍事侵略、急激な円安といった予測困難な事象が私たちの生活や社会経済活動に大きな影響を与えた年でした。目まぐるしく変化する状況に対応するため、世界を視野に、未来を見据えて、成長と発展に向けた取り組みを力強く進めるとともに、ウィズコロナの歩みを着実に進めていかなければなりません。

今年の干支は「卯」です。「次代を担う『人財』の育成」、「世界から選ばれる福岡県の実現」、「成長産業の育成」、「ワンヘルスの推進」の4つに重点的に取り組み、ウサギが跳ねるように本県をさらに飛躍させてまいります。

同時に、地方創生の基本である住み慣れたところで「働く」、長く元気に「暮らす」、安心して子どもを産み「育てる」ことができる地域社会づくりにも引き続き取り組んでまいります。

県民の皆さまが安心してたくさん笑顔で暮らしていける福岡県にまいります。皆さまのご支援、ご協力をお願いいたします。

新しい年が皆さまにとって素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。



九州労働金庫福岡県本部
本部長 西村 芳樹

新年明けましておめでとうございます。日頃よりろうきん運動に対してご支援ご協力をいただいていることに対して改めて感謝申し上げます。

一昨年からの新型コロナウイルス感染拡大は、昨年末から第8波に入り感染者数も先週同曜日を上回る日が続いています。ウィズコロナの政策として感染防止策を行いながらの社会活動もしっかりと進めていく事が政府の方針で取り組まれています。一方でロシアのウクライナ侵攻に端を発した世界経済の混乱は私たちの家計にまで大きく影響を及ぼし、昨年末から物価上昇は社会的弱者の生活を直撃して極めて厳しいものになってきています。

このような状況で労福協に集うそれぞれの団体は、その特色を生かした取り組みを行い、すべての働く者の経済的地位の向上に向けての運動を進めていく事が重要になってきます。私たち九州労金も現下の経済状況を踏まえて働く者の可処分所得の向上を目指して新たな商品の提案と将来に向けた備えに対する相談等を今まで以上に行って会員と協働した「しあわせ創造運動」を積極的に展開し、福祉金融機関としての社会貢献活動を展開していきます。

最後になりますが2023年が会員、組合員およびご家族のみなさん、そしてすべての働く人にとって良い年になることを祈念申し上げて年頭のご挨拶とさせていただきます。



こくみん共済 coop
福岡推進本部
本部長 佐田 正二

新年明けましておめでとうございます。

組合員・協力団体の皆さまには健康やかに新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、組合員の生活に大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症は、ウィズコロナの新たな段階への移行しているものの、現在も長期化による心身疲労の蓄積や家計負担の増加が続いています。

一方、9月に発生した台風11号・14号は人的被害や住宅被害等の甚大な被害をもたらしました。被災された方々に対しまして心からのお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い生活再建が実現できるよう、迅速な共済金のお支払いにむけた対応をすすめてまいります。

福岡労済では2023年11月1日に創立60周年を迎えます。食育をテーマとした映画鑑賞会や朝倉地区での復興支援活動など組合員の皆さまや地域に貢献できる取り組みを行っています。これからも組合員・協力団体の皆さまと「共感・参加・信頼」による価値観を共有し、より魅力的な「保障の生協」をめざして、福岡推進本部役職員一丸となって努力を続けてまいります。

組合員・協力団体の皆さまにとって、本年が素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



福岡県生活協同組合連合会
会長理事 堤 新吾

新年あけましておめでとうございます。
日頃より、福岡県生協連並びに会員生協の事業・活動へのご理解、ご協力に心より感謝いたします。

長引く新型コロナウイルス感染症の影響による貧困・格差の拡大が明らかとなり、社会とくらしへの不安が一層強まっています。全国の生協は、さまざまな事業活動を推進し、日々のくらしのインフラの一つとして組合員に寄り添った取り組みを今後も進めて参ります。

2022年2月24日に始まったロシアのウクライナへの軍事侵攻では、多くの市民の命とくらしが犠牲となりました。世界は、今、平和の危機に直面しています。生協は、平和で安定した社会を築くための、対話と外交を通じた国際社会の努力を引き続き求めて参ります。

私たち生協は、地域に根差した助け合いの組織として、さまざまな団体との連携も進めています。協同組合ふくおかネットワーク推進協議会を通じて、協同組合間連携事例を増やしなが、安心してくらす地域社会づくりにも貢献していきます。

SDGsの視点を大切に誰一人取り残さない持続可能な社会の実現に向けて会員生協や関係団体と共に事業と活動の両面から、さらに取り組みを広げていきます。

コロナ禍やウクライナ危機が取り、今年一年が皆様にとって幸多き一年となりますよう祈念いたします。

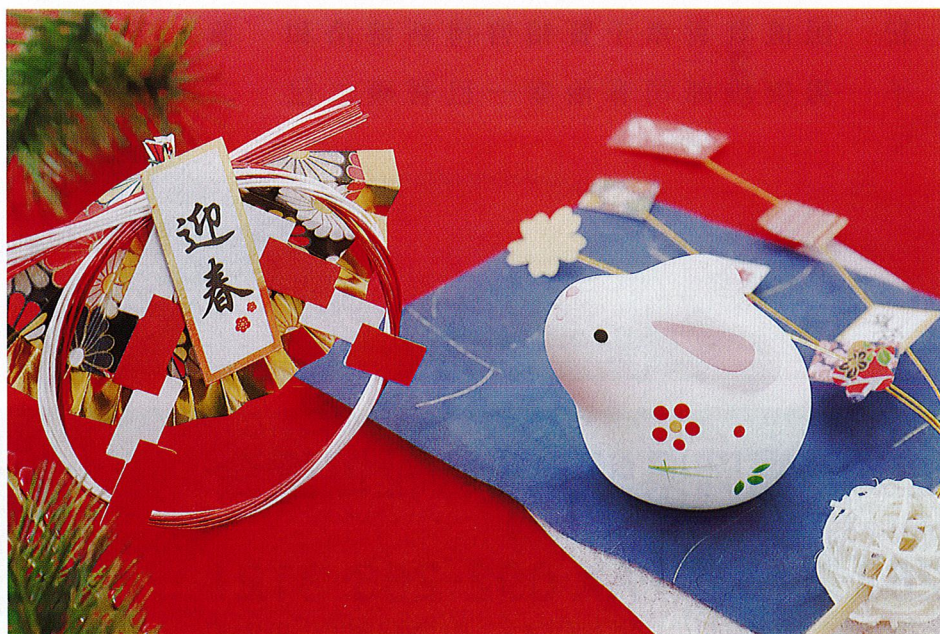


北九州総合労働会館
理事長 清田 博巳

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、北九州総合労働会館（通称：真鶴会館）の運営に対しまして事業団体・労働団体をはじめ会員の皆さま方におかれましては格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。また、年末・年始も業務に精励されている皆様方に対しまして心より敬意を表します。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症は変異を繰り返し、8月の第7波において爆発的に感染拡大し、利用状況が回復傾向にあった貸会議室・貸しホールの利用も減少するなど、会館運営に大きな影響がでました。各会員団体のご協力を得ながら事業再生、また北九州市の「市政だより」の継続掲載等、広報活動にも取り組んでいきます。テナントについては、昨年5月に小倉ケアプランセンターに入居して頂き、同時に駐車場10台を契約していただきました。しかし、中ホール等がまだ空いている状況であり、テナント入居者の募集や空室の有効活用等健全運営に向け、今後も役員一同努めてまいります。本年も真鶴会館に対するご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、真鶴会館に入居頂いておりますテナントの皆さま方のご発栄と会員ならびにご家族の皆さまのご健勝・ご多幸を心よりお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



謹賀新年

北九州地域労働者福祉協議会

会長 増田 隆 男
 事務局長 遠藤 禎 幸
 職員 森谷 尚 美

京築・田川地域労働者福祉協議会

会長 中 司 亮
 事務局長 原田 登喜雄
 職員 蕨野 美 穂

遠賀川地域労働者福祉協議会

会長 熊本 和 正
 事務局長 金光 千 春
 職員 大庭 菜 摘

福岡地域労働者福祉推進協議会

会長 石堂 高 大
 事務局長 平田 貢一郎
 職員 桑野 小代里

筑紫・朝倉地域労働者福祉協議会

会長 小西 晋
 事務局長 中山 啓 一
 職員 丸山 よし子

北筑後地域労働者福祉協議会

会長 國武 卓 史
 事務局長 樋口 孝 司
 職員 良永 礼 子

南筑後地域労働者福祉協議会

会長 深町 聡一郎
 事務局長 本田 賢 治
 職員 浦濱 明 美

ライフサポートふくおか

事務局員 伊藤 正 美

本年もよろしく
 お願ひ申し上げます

令和五年 元旦

職員	監事	理事	専務理事	副理事長	副理事長	理事長
小森田 紀子	石若原平樋金本遠中清堤寺神重 本松田田口光田藤山田 下尾信 匡直登貢孝千賢禎啓博新博浩和 男美雄一郎司春治幸一巳吾康二己	藤吉 眞 二	西村 芳 樹	佐田 正 二	藤田 桂 三	

一般社団法人
 福岡県労働者福祉協議会 役職員



一般社団法人 福岡県労働者福祉協議会

〒812-0025 福岡市博多区店屋町6番5号 小松ビル2階

TEL 092-263-3141 FAX 092-263-3121

[ホームページ] <http://fukuoka.rofuku.net/> [メールアドレス] roufuku@h8.dion.ne.jp

ろうふく協 NEWS
 vol.182

発行 2023年1月5日

発行人 藤田 桂三

編集 藤吉 眞二